

2022

かけはし

KAKESHASHI

・HAPPY・NEW・YEAR

裾野市商工会報

令和4年1月17日発行



ご挨拶

裾野市商工会員の皆さま 新年明けましておめでとうございます。

3年前から世界中で大混乱に陥れたコロナのパンデミックもワクチンの開発や日常生活スタイルの対応により新種のウイルス株の爆発的な感染もどうにか抑えられ、穏やかに新年を迎えられることだけでもささやかな幸せを感じられる気がいたします。しかしこの2年以上にわたるコロナとの共生は世界中のあらゆる分野に影響を与え変化をもたらしたことは言うまでもありません。我々商工会にとっても従来通りのイベントや活動は制限されこの2年間じっと嵐が去るのを待ち続けるしかない状態でありました。しかしこうした閉塞感にさいなまれる中、われわれの上部組織である県商工連合会から県内35商工会の健康診断ともいえる管理数値目標の査定が昨年実施されました。これには県商工部からの補助金や各商工会の配置人員数の妥当性の再検証目的があったようでもあります。この査定方法につきましては20項目の県内商工会の活動実績の平均値に対し、達成度による1点か0点かという少々乱暴かつ単純な(私の主観)数値評価が行われました。

その結果最高点を取った商工会は15点でしたが わが裾野は3点しか取れず下から3番目という残念な結果となってしまいました。もちろんこの評価方式や項目に対しては各商工会よりかなりの異論が噴出したのは言うまでもありませんが、明らかな現実の評価として受け止めざるを得ませんでした。こうした中、昨年より今までおろそかにされてきたこの数値目標を少しでも達成すべく役員一同、真剣に先頭に立ちコロナ禍での活動を見直しこの数値全体を改善するよう努力する決意であります。商工会は利益を追求する組織ではありませんが会員のため充実した活動を継続するためには最低限の財務的余裕が必要であることに間違いありません。

今年度もまだまだ厳しい経済状況が続くことは致し方ありませんが、ぜひとも商工会員の皆様互いに助け合い協力し合いこの苦しい時代を乗り越えていきましょう。ウーブンシティに関しても裾野市に必ずや良好な波及効果があるものと信じ、暖かな日の出を迎えられと願ひ今年も頑張りましょう。



商工会 会長
渡邊 康一

ご挨拶

明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

今年の干支「寅年」は、春が来て草木が芽吹き、「動く年」と言われています。新型コロナウイルス感染症によって社会・経済が受けた傷は未だ癒えることなく、回復に時間を要するものと思われまふ。とはいえ、感染状況を落ち着かせるために、3回目のワクチン接種も鋭意準備中ですので、春の訪れとともに、コロナ禍で停滞した活動が動き出し、社会・経済が復調していくことを願っております。

さて、裾野市は、昨年、市制50周年を冠して様々なイベントを催しました。50周年を振り返ることにより、今日の裾野市の発展は、市民をはじめ多くの方々のご尽力、ご厚意によるものと改めて認識し、今後の市政への活力をいただきました。

現在、私たちの社会はSDGsに象徴されるように、環境保護や財政の健全化など、いかに社会の持続可能性を高めるかといった課題に直面しております。市内では、民間企業によるウーブン・シティが着工し、最先端の技術を用いた持続可能な社会を目指す、未来技術のまちづくりが始まり、本市も、10月5日に「カーボンニュートラルシティ」を宣言し、脱炭素社会に向けた挑戦のスタートをきりました。今後これまでに以上に、市民・企業の方々と一緒にSDGs達成への取組みを進めていく所存です。

持続可能な社会の実現は、商工業に携わる皆様のご理解・ご協力なしにはありえません。脱炭素社会という目標も、経済活動を縮小・停止することなく、森林保全によるCO₂吸収機能の強化など、発想の転換によってその実現を目指していただきたいと考えます。裾野市ではスノコ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想(SDCC構想)を掲げ、デジタル技術やデータを活用して、企業の皆様とともに地域課題を解決することを進めています。今後市内外から様々なアイデアが寄せられ、新たなビジネスチャンスも生まれるものと思えます。裾野市商工会会員の皆様におかれましても、この新たなチャンスを活かしていただくとともに、裾野市の活性化にも寄与していただければ幸いです。

結びに、皆様のご健勝ご多幸と新たな時代に向けて大きな飛躍の年になりますことを心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



裾野市長
高村 謙二

新年明けましておめでとうございます。一昨年、昨年と新型コロナウイルス感染症拡大により会員他事業者の皆様においては売上減少等多大なる影響を被り大変な年であったと思われまふ。

また、各イベント等が漸並み中止となり毎年楽しみにされていた方々には大変残念な2年間でありました。昨今は感染者数が減少し終息に向かっていくと思われる中、オミクロン株といった変異株の拡大が懸念されまだまだ予断を許さない状況になっております。

さて、昨年12月に静岡財務事務所から発表された法人企業景気予測調査によると全産業の景況判断指数(BSI)はプラス6.9と2004年の調査開始以降で最も高い指数となりました。これは感染者数の減少により経済活動が再開されたことで昨年の7~9月のマイナス4.9から11.8%の大幅改善となっております。指数がプラスになったのは2020年10~12月期以来1年ぶり、大企業は36.6%上昇のプラス16.1、中堅企業は11.3%上昇のプラス9.9、中小企業は14.2%上昇のプラス1.9となり、業種別では非製造業が17.0%上昇の11.4%改善しています。特にサービス業は前期のマイナス8.1からプラス22.5に大幅上昇しており、要因としては宿泊客が徐々に戻りまた飲食店客の増加等が考えられます。一方、製造業は部品の供給不足や原材料価格の高騰が響き、指数はプラス0.8と4.8%の小幅な上昇にとどまりました。2022年1月~3月期はプラス5.5と予想され、2021年度の全産業の売上高は10.0%の増収、経常利益は55.4%の増益が見込まれております。確実に企業の業績好転の兆しがある中、変異株による感染拡大のリスクや半導体不足、原材料価格高騰等不安要素はありますが、今後一日も早い完全終息による地域経済の回復・発展が望まれます。

当商工会では引き続き事業者の方に寄り添い経営革新・創業支援・事業承継・持続化補助金申請等職員一丸となって取り組み、ご支援させて頂く所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



裾野市商工会ホームページ



商工会 局長 荻島 昭章

Outstanding Employee Awardees

令和3年度 優良従業員被表彰者

この表彰は、市内の事業所に勤務されている成績優秀な永年勤続者の方に贈られるものです。

本年も昨年に引き続き、変わらぬ社会情勢に配慮し商工会館において式典は行わず、各事業所にて表彰を執り行っていました。来年度は従来通り商工会館での開催を前提に、会員事業所皆様より表彰推薦をこれまで以上にいただける様に新たな形での開催を目指したいと考えております。

- 35年 (株)七栄 加藤澄夫、大石和利 ※敬称略・順不同
- 25年 (株)フジヘン 市川晴英
- 20年 渡邊工業(株) 荻田泰司、佐久間亨 (株)エーユー 青木千八
ライオンファイル(株)富士工場 湯川美佐子
(株)田代新聞センター 栗原保江
- 15年 (株)フジヘン 滝口和也
- 10年 (株)フジヘン 小野勝正 (株)さいとう看板 田宮友子
- 5年 (株)中川商店 水口清輝 渡邊工業(株) 岩田 宙
ライオンファイル(株)富士工場 望月直己、勝又実穂



計15名